

(別添資料1)

事業所名

放課後デイサービスボレボレStep

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

2 月

25 日

法人（事業所）理念		みんな違ってみんないい。私たちは、一人ひとりの子どもが持つ無限の可能性を信じています。個性豊かな子どもたち一人ひとりの個性を生かして成長できる環境を提供したいと考え、喜怒哀楽を大切に、全ての感情を共有しながら、子どもたちが自分らしく輝ける未来への力強い一歩を踏み出せるよう、 全力でサポートしていきます。 私たちの願いは、 子どもたちがそれぞれのペースで、着実に前進していくことです。子どもたちの「個性」は最大の宝物。一人ひとり違って当たり前、個性が集まることで、この世界がより豊かになると願い、子どもたち一人ひとりが自分らしく、もっと輝けるよう「生き抜く力」をサポート。															
支援方針		午前は、未就学児の完全個別療育。午後は、小学校低学年を中心とした小集団の療育プログラムを提供する施設です。子供たちが家庭と学校以外の場所として安心して心を解き放てる環境です。ボレボレStepでの活動を通じて家庭、学校、友達との関わりや社会性の育成を促し、学校生活のサポートを行います。ボレボレStepでは、お子さま一人ひとりの個性と能力を大切にし、遊びを通して感覚を養います。															
営業時間		9 時		20 分		17 時		0 分		まで		送迎実施の有無		あり		なし	
		支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	健康状態の維持・改善 / 生活のリズムや生活習慣の形成 / 基本的生活スキルの獲得 ・お子さんの体調把握をし、心身ともに健全・健康で安全な生活が出来るよう環境を提供。 ・トイレトレーニングなど、継続的な支援で排泄や衣類の着脱の習慣が身につけられるよう支援。 ・おやつ提供時、口腔内の感覚に配慮しながら、咀嚼など楽しく習得できるよう支援。 ・お子さんの育ちに沿って、適切な時期に基本的生活習慣が習得できるよう支援。 ・時間や空間を理解しやすく視覚支援等を用いて構造化するなどの環境を提供。 ・土曜活動のクッキングなどを通して食育の実施。															
	運動・感覚	姿勢と運動・動作の向上 / 姿勢と運動・動作の補助手段の活用 / 保有する感覚の総合的な活用 ・姿勢保持や上肢・下肢の動作など複数の部位を同時に動かす協調運動の習得や、筋力の維持・強化できるよう身体的運動(粗大運動)の実施。 ・固有受容覚(身体の位置や動き、力の入れ具合を感じる感覚)と前庭覚(自分の身体の傾きやスピード、回転を感じる感覚)の発達を促す体幹バランストレーニングの実施。 ・目と体(または手指の感覚運動)の動きのつながりを意識したビジョントレーニングの実施。 ・保有する感覚器官(視覚、聴覚、触覚、嗅覚等)を十分に活用できるようリズム遊びや製作活動、感覚遊び(微細運動)の実施。 ・感覚過敏や鈍麻への環境調整の実施と配慮。															
	認知・行動	認知の発達と行動の習得 / 空間・時間、数等の概念形成の習得 / 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 ・入ってくる情報から必要なメッセージを選択して適切に処理でき、行動につながっていくよう視覚支援等の活用。 ・ルール範囲で見通しを持って自主的に考え、自分自身で選択・決定したことを行動していけるよう支援。 ・物の属性、形、色、音等が変化する様子に興味を持ち、大小、数、時間等の概念を習得できるよう支援。 ・コミュニケーションの困難から起こりうる認知の偏りへの対応や適切な行動への支援。															
	言語コミュニケーション	言語の形成と活用 / 言語の受容及び表出 / コミュニケーションの基礎的能力の向上 / コミュニケーション手段の選択と活用 ・読み書き能力の向上にむけての学習支援。 ・言葉や表情、身振り等を用いて意思の疎通ができ、コミュニケーションに必要な基礎的な能力を身につけることができるよう支援。 ・絵本の読み聞かせや絵カードなどを活用し、相手の意図を理解(受容言語)したり、自分の考えを伝えたり(表出言語)できるよう支援。 ・チームでの活動等を活用し、人との関わりを通して共同注意の獲得など、コミュニケーション能力が向上するよう支援。															
	人間関係社会性	他者との関わり(人間関係)の形成 / 自己の理解と行動の調整 / 仲間づくりと集団への参加 ・言葉や指差しで反応を返すなど、愛着行動(アタッチメント)が形成されるよう触れ合いを通した関係性の構築。 ・「～でなければいけない」から「～でもいいんだ」という自分の行動の特徴を理解するとともに、人との関わりを通して発想の展開が出来るよう支援。 ・「子ども面談」や「子どもミーティング」等を通して、自分の強みと弱みを知り(自己理解)、それに伴った行動の調整が出来るよう支援。 ・静養室を活用し、クールダウンできる場所の提供。また、気持ちを受け止め代替するなど気持ちや情動の調整ができるよう支援。 ・一人遊び、傍観遊び、並行遊び、連合遊び、協同遊びなどの遊びの展開や、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等を通して社会性が育まれるよう支援。 ・ルールを理解し、相手を認め受け入れながら遊びや集団活動に参加できるよう支援。															
家族支援		「個別」 定期的な面談のほか、不定期にカウンセリング等でご家族のご相談にのり、困り感や想いを理解し、接し方や子育て方法などを提案。 「グループ」 定期的な座談会を通して、ご家庭での子育ての悩みの情報交換やご家族同士の交流の場を提供。また、ご要望に応じてペアレント・トレーニングを実施。				移行支援				移行先へ環境の変化による影響と課題等の共有。 当事業所での支援内容等の共有。 お子さんの情報・保護者様のご意向等についての伝達。							
地域支援・地域連携		「保育所等訪問支援」 障害の有無に関わらず共育できるインクルージョンを推進し協議・提案。 「関係機関との連携」 関係機関(相談事業所・他事業所・保育施設・学校等)との連携と支援内容の共有と協力体制の構築。				職員の質の向上				事業所内研修の実施。 カンファレンスの実施							
主な行事等		「季節ごとの行事」 お祭り・ハロウィン・クリスマス会・節分・卒業式 等 「土曜活動(放課後等デイサービスのみ)」 実験・クッキング・戸外活動(公園・室内遊具施設など)															